Aqua-Innovation

テクノロジーが切り拓く、持続可能な養殖の未来

AQUACULTURE

出展のご案内

陸上養殖設備展 2027

Land-Based Aquaculture Equipment Exhibition

10.13 水 WED ››› 15 金 FRI

東京ビッグサイト 南ホール
Tokyo Big Sight South Halls

www.land-aqua.com

出展要項

1 出展小間料金について

(1)基礎小間

440,000円(税込)/1小間(間口3m×奥行3m)

(2)角小間指定料金

出展申し込み時に、有料で角小間を指定いただけます。(先着順)

110,000円(税込)/1社

※小間数に関わらず、上記の料金です。
※4小間以上お申し込みの場合は、原則、角小間になるため指定不要です。
※指定のない小間に関しては、小間数、申込順、実演の有無等を考慮して配置します。

2 出展申込の解約(キャンセル)

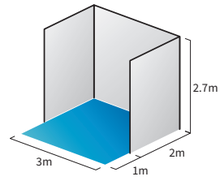
出展申込者の都合により出展の取り消しまたは変更があった場合は、下記のとおり解約料を申し受けます。なお、出展申込のキャンセルは、書面にてのみ受理します。

書面による解約通知を受理した日	解約料
2027年6月30日(水)以前	出展小間料金(税込総額)の50%
2027年7月1日(木)以降	出展小間料金(税込総額)の100%

3 小間規格について

(1)基礎小間

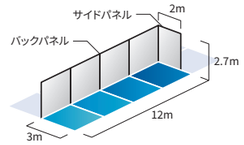
- 基礎小間には、隣接する小間がある場合、境界を仕切るバックパネル、サイドパネルを事務局が設置します。
- 独立小間には、パネルは設置しません。
- 角小間など隣接する小間がない場合、サイドパネルは設置しません。
- 社名板、カーペット、テーブルやイスなどの備品は含まれておりません。



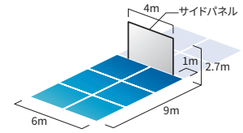
基礎小間(9㎡)

(2)小間規格

小間(9㎡)は以下の3種類があります。
・単列小間
・複列小間(4小間以上)
・独立小間(12小間以上)



単列(シングル)小間・4小間例



複列(ダブル)小間・6小間例

申込方法について

(1)申込方法

出展申込書(別添)に必要事項をご記入の上、下記事務局にご提出ください。

陸上養殖設備展事務局
〒100-0013　東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内

(2)申込締切

申込締切　2027年5月31日(月)　但し、予定小間数に達し次第締切ります

(3)申込の保留・取消

出展内容が本展示会の趣旨にそぐわないと判断した場合、事務局はその受付を保留または拒否することがあります。

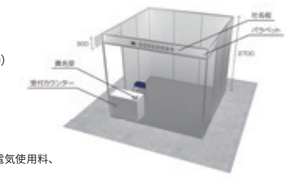
会期までのスケジュールについて

2027年5月31日(月)	出展申し込み締切
6月30日(水)	出展料金支払期限
7月下旬(予定)	出展準備資料一式配信(小間レイアウト等)
10月11日(月)・12日(火)	搬入・装飾
10月13日(水)~15日(金)	陸上養殖設備展 2027会期

パッケージブース(別途有料) ※仕様・備品は予定

ベーシックプラン(1小間)　レンタル価格:110,000円(税込)

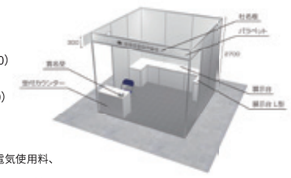
①パンチカーペット/9㎡
②パラペット/H300
③社名板/1枚(W1800×H200)
※ロゴ指定・社名マーク使用可
④受付カウンター/1台(W900×D450×H750)
⑤パイプイス/1脚
⑥貴名受/1ヶ



※上記パッケージプランには電気設備工事及び電気使用料、電気照明備品は含まれておりません。
電気照明備品、電気供給が必要な場合は別途申込みが必要です。
※角小間の場合は通路側の壁はなく、パラペットがつきます。

スタンダードプラン(1小間)　レンタル価格:170,500円(税込)

①パンチカーペット/9㎡
②パラペット/H300
③社名板/1枚(W1800×H200)
※ロゴ指定・社名マーク使用可
④展示台(引戸付)/1台(W990×D495×H750)
⑤L型展示台/2台(W990×D495×H750)
⑥受付カウンター/1台(W900×D450×H750)
⑦パイプイス/1脚
⑧貴名受/1ヶ



※上記パッケージプランには電気設備工事及び電気使用料、電気照明備品は含まれておりません。
電気照明備品、電気供給が必要な場合は別途申込みが必要です。
※角小間の場合は通路側の壁はなく、パラペットがつきます。

お問い合わせ
陸上養殖設備展事務局
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内
TEL: **03-3503-7805**　E-mail: land-aqua@a-tex.co.jp

www.land-aqua.com

次世代のプラントから最先端の設備・資機材まで、陸上養殖の革新を加速させる専門展示会

Land-Based Evolution

開催にあたって *Announcing the Event*

地球温暖化をはじめとする海洋環境の変化や水産資源の変動を受け、世界の水産業は大きな転換期を迎えています。世界的な人口増加や経済発展にともなう水産物需要の拡大が続く一方で、従来の天然漁業のみに依存した供給体制には限界が生じており、持続可能なタンパク質の安定供給源の確保は喫緊の課題となっています。

こうした中、国が掲げる成長戦略の重要分野の一つとして「フードテック」への注目が高まるなか、気象や自然環境に左右されず、計画的かつ衛生的な生産を可能にする「陸上養殖」への期待が世界規模で急速に高まっています。環境負荷を抑えながら安全な水産物を育てるこの技術は、国家的な食の安全保障を担う次世代の成長産業として、全産業からの熱い視線を集めています。

本展は、進化を続ける「陸上養殖技術」に特化した専門展示会です。最先端の設備・システムを持つ企業と、陸上養殖事業者・新規参入企業、幅広い水産関係企業が深く繋がり、持続可能な水産業の未来を共創するビジネスプラットフォームを提供します。

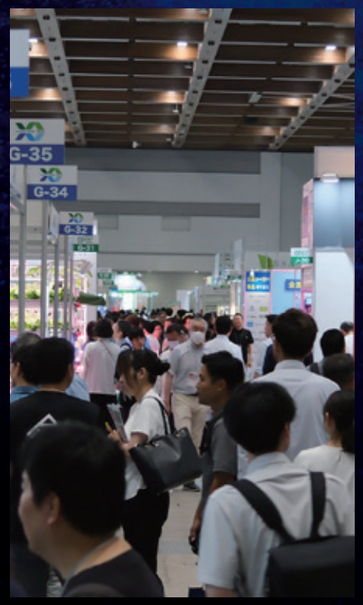
開催概要 *Event Overview*

名　　称：陸上養殖設備展2027
　　Land-Based Aquaculture Equipment Exhibition 2027
テ ー マ：Aqua-Innovation テクノロジーが切り拓く、持続可能な養殖の未来
会　　期：2027年10月13日(水)～15日(金) 3日間
会　　場：東京ビッグサイト南ホール
主　　催：陸上養殖設備展推進協議会
共　　催：アテックス(株)
来場者数：6,000人(予定)
入 場 料：無料(登録制)

併催行事：主催者セミナー(聴講無料)
同時開催：FOOD展2027
　　[構成展示会]
フードシステムソリューション
フードセーフティジャパン
フードファクトリー
フードディストリビューション
惣菜・デリカJAPAN









出展対象 *Who Can Exhibit*

陸上養殖関連機器・システム

陸上養殖プラント、閉鎖循環式陸上養殖システム(RAS)、水処理・水質浄化装置、ろ過機、ろ材、脱窒装置、気体溶解装置、酸素溶解装置、酸素発生装置、酸素供給装置、酸素ボンベ、酸素ガス、水槽、タンク、ポンプ、ボイラ、給餌機、人工海水、プラント設計・エンジニアリング、ビニールハウス資機材、コンテナ型施設、フィルム、保温・遮光資材、被覆資材 他

環境制御装置・技術

水温調節装置、熱交換器(ボイラー・ヒートポンプ)、チラー、空調システム、冷・暖房装置、換気装置、断熱材、照明、光環境装置、殺菌装置(紫外線・オゾン)、水除菌装置、測定器・センサー(水温、DO、pH、EC、CO2、湿度、光量等)、環境管理システム、水質管理システム、水質測定器、モニタリング装置、制御盤、非常用電源・発電装置 他

水産業ICT・先端技術

IoTプラットフォーム、AI活用(成長予測・病害検知、他)、クラウドサービス、ビッグデータ解析技術、自動化システム、トレーサビリティ技術、ロボット、水中ドローン、ゲノム編集技術、海洋観測センサー・監視カメラシステム、魚群探知・解析システム 他

種苗関連・育成技術・資材

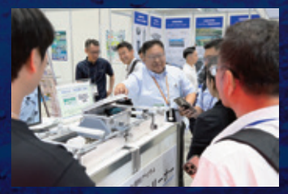
種苗、飼料、栄養剤、サプリメント、病害対策、ワクチン、品種改良技術、孵化装置、採卵・育種技術、運営・参入支援 他

輸送・加工

輸送技術・機器(種苗・活魚・鮮魚)、冷凍・解凍技術、包装機器・資材、水産物生産工場向け機器・システム、貯蔵庫 他

水産関連技術・サービス

養殖事業者、関連技術・設備・資材、コンサルティング・サービス、金融・ファンド支援 他









来場対象 *Who Should Visit*

- 陸上養殖事業者
- 水産・海面養殖・漁業関係者
- 水産業参入希望事業者
- 水産試験場、大学・研究機関、水族館
- 外食・小売・流通
- 水産加工・食品加工・製造業
- 外食・中食、小売・流通バイヤー
- 鉄道・交通インフラ、建設・エンジニアリング企業
- 国・自治体(地域創生、地域・水産振興担当部署)
- 民間企業、その他

ビジネスの飛躍を生み出す、本展だけの3つの強み

01 陸上養殖に特化した、日本唯一のBtoBプラットフォーム

陸上養殖のプラント、設備、資機材に特化することで、目的意識の高い来場者との濃密な商談を実現します。新規参入を検討する経営層から、現場の生産技術者、流通関係者まで、業界のキーパーソンが「今すぐ導入・協業したい技術」を探しに集まります。

02 業界の最前線をリードするキーパーソンによる、プレミアムセミナー

ビジネスモデル、最新のICT活用、出口戦略、海外展開など、水産業の未来を占う豪華セミナーを連日開催。来場者の動員力を強力に高めるとともに、出展ブースへの来場者誘致を最大化します。
（※最先端の導入事例やトレンドを網羅したセッションを多数予定）

※掲載内容は過去の開催実績（過去2年間）の一部抜粋です。今回の講演内容とは異なりますのでご了承ください（役職・肩書等はすべて当時（開催時）のものとなります）。


NTTグリーン&フード(株)
代表取締役社長
久住嘉和


(株)NTTアクア
代表取締役
渡辺聡


四国旅客鉄道(株)（JR四国）
事業開発本部 担当部長
森田雅祐


(株)アクポニ
代表取締役
濱田健吾

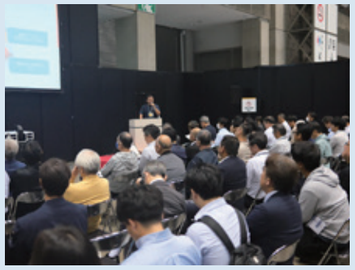

(株)プラントフォーム
代表取締役CEO
山本祐二


かもめミライ水産(株)
代表取締役
大澤公伸




東邦ガス(株)
事業開発部 次長
木村徳博

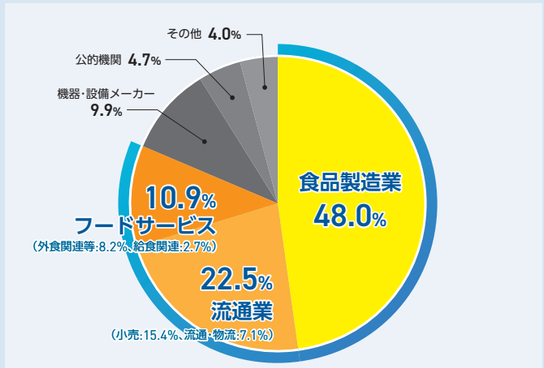

静岡ガス(株)
経営戦略本部 経営企画部
未来価値共創担当
橘高大輝



03 「FOOD展」との強力なシナジーによる、川上から川下までの商談創出

食品製造・流通・衛生管理の専門展示会「FOOD展」との同時開催により、生産・養殖（川上）から加工・流通・小売（川下）までのバリューチェーン全体をつなぐ来場者とダイレクトに接触できます。異業種連携や新たな販路開拓のチャンスが大きく広がります。

来場者層（業種別比率　フードファクトリー2025 実績）

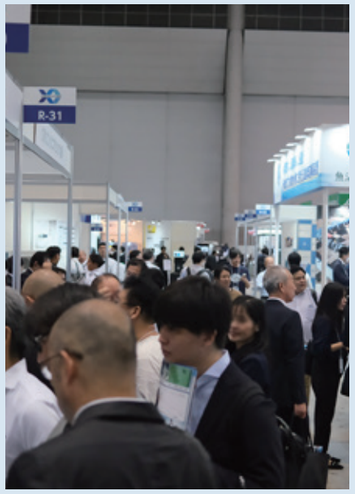


来場者実績（フードファクトリー2025 実績一部抜粋）

イオンリテール	食品本部
伊藤忠商事	食品安全・コンプライアンス管理室
イトーヨーカ堂	QC部
くら寿司	衛生管理部
京王プラザホテル	食品衛生
鈴廣かまぼこ	製造R&Dチーム　物流課
成城石井	製造本部
セブン-イレブン・ジャパン	QC部
ゼンショーホールディングス	技術統括本部
銚子丸	衛生管理室
帝国ホテル	安全管理課
ニッスイ	サプライチェーンマネジメント部水産物流課
はごろもフーズ	富士山パスタプラント
はま寿司	供給管理室
ベイシア	企画部
マルハニチロ	生産企画部
三井物産	流通ソリューション事業部マーケティング事業室
三菱商事	食品産業グループ







確かな実績と、次世代へつながるビジネスの舞台

Proven Results & Future Vision

前回（陸上養殖設備展2025）結果報告

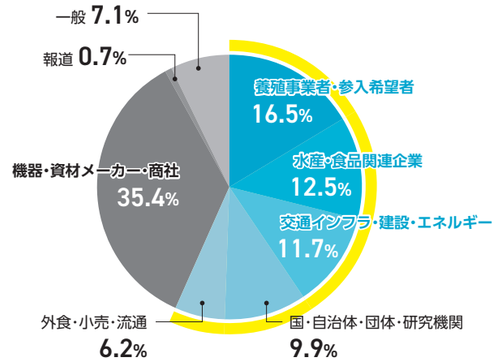
※結果報告書より一部抜粋

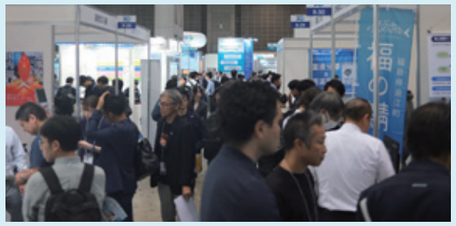
前回の成功を経て、本年は「陸上養殖」にフォーカスした「設備・資機材」の専門展示会として、さらに規模を拡大して開催する予定です。

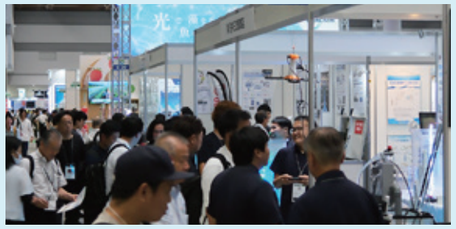
前回実績ハイライト

来場者数　**4,206名（全国の養殖・水産・異業種から多数来場）**

業種別比率







出展者のコメント　Voice of Exhibitors

- 養殖設備にテーマを絞っているため、ターゲットの来場者数が多かった。
- 併催セミナーの受講者にブースへ訪問してもらえた。
- 想定以上のブース訪問者であった
- 陸上養殖にターゲットが絞られており、関係の薄い来場者の対応が不要で効率的だった。
- 来場者の質が良く、非常に効果的な展示会であった。
- 同時開催する展示会により、幅の広い来場者層に対してPRできた。



来場者のコメント　Voice of Visitors

- 陸上養殖に特化しているため、効率的に話を聞くことができた。
- 業界で活躍する色々な企業を網羅的に知る事が出来た。
- 陸上養殖事業者から具体的な話が聞けた。
- 業界の最新動向・先端技術を知ることができた。
- 養殖事業者によるセミナーが充実していた。
- 昨年よりも出展者が大幅に増えた印象。



前回（陸上養殖設備展2025）来場者実績（一部抜粋）

養殖事業者・参入希望者

- IMTエンジニアリング
- アトランド　設計・建設部
- 安藤建設　養殖事業部
- 伊藤忠テクノソリューションズ　みらい研究所
- イビデン　技術開発本部
- 入来水産
- welzo　FISHMEAL MATERIAL Dept.
- 宇佐養魚
- UCHIPONIFARM
- UMI ファーム
- 雲南合続環境科技　魚養殖事業部
- NECネッツエスアイ　SES陸上養殖グループ
- NTTグリーン&フード　戦略・営業部
- 荏原商事　ソリューション統括部
- 荏原製作所　マリンソリューション課
- FRDジャパン　養殖部
- エムテック　アクア事業部
- MBC開発　川内養殖場
- 大井川うなぎ
- 大林組　ビジネスイノベーション推進室
- OGATA養殖技術研究所
- 沖縄還元フーズ　還元養殖部
- 恩方漁業協同組合
- 神畑養魚　生体部
- 極洋　研究所　商品開発技術管理課
- 栗原養魚場
- ゲンボウ水産　流通管理部
- 三幸養魚
- 静岡ゴルフガーデン　養殖事業部
- 嶋脇漁業
- 新沿岸陸上養殖
- 水ingエンジニアリング　PE技術四部
- 須田養魚場
- 寿都町寿都漁協協同組合　海藻養殖センター
- TakaoFarm　養殖事業部
- 高野養魚場　養魚部
- 拓水　周防大島事業場
- タケエイ　グリーンイノベーション室
- 東西養殖
- 東レ　水処理部門
- 西松建設　技術研究所
- 日本養魚技術
- Niterra AQUA
- NESIC陸上養殖　生産本部
- パナム　養殖部門
- 林養魚場
- ピュアサーモンジャパン　営業部
- 藤川養鰻
- 富士山サーモン　本部
- 丸一化成　養殖事業部
- マルイチ産商　養殖事業戦略推進部
- 水山養殖場
- メタウォーター　イノベーション推進室　新事業推進部
- 持田養魚場
- リージョナルフィッシュ　経営企画部

水産・食品関連企業

- 伊藤忠飼料　水産飼料事業部
- オカムラ食品工業　商品開発室
- 共立製薬　ワクチン開発部
- 佐賀玄海漁業協同組合
- 佐賀県庁　水産課
- J-オイルミルズ　経営企画部
- 昭和産業　フィード事業部
- 宝酒造　戦略企画部
- 中部飼料　水産部
- ニチモウ　海洋営業部
- 日清丸紅飼料　水産業務部
- ニッスイ　漁業養殖推進部　漁業養殖推進課
- 日本海水　塩・食品事業部
- 日本食研ホールディングス　研究戦略部
- 日本デリカフーズ協同組合
- ネッツフォレスト陸上養殖　グローバル推進グループ
- はごろもフーズ　開発部
- 林兼産業　飼料事業部　営業部
- ヒガシマル　飼料営業部
- フィード・ワン　水産飼料部
- ホッカンホールディングス　サステナビリティ推進部
- 松屋
- マリンフーズ　鮭鱒課
- マルハニチロ　増養殖事業部
- 三島食品　研究所
- 三井物産シーフーズ　営業第一部
- 三菱商事　ビジネスインキューベーション
- 美濃養魚場
- 武蔵野　原料統括部
- 桃屋　研究開発部
- 森永乳業　非連続的成長推進室
- 焼津水産化学工業　開発本部
- ヤクルト本社　中央研究所　医薬品研究所

国・自治体・団体・研究機関

- 青森県八戸市　水産事務所
- 諫早市　農林水産部林務水産課
- 茨城県水産試験場　定着性資源部
- 岩手大学　研究支援・産学連携センター
- 岡山県立東岡山工業高等学校　電子機械科
- 岡山理科大学　生物生産教育研究センター
- 小樽水産加工業協同組合
- 鹿児島大学
- 神奈川県庁　水産課
- 神栖市役所　水産・地域整備課
- 川崎市役所　北部都市基盤整備事務所
- 京都大学　成長戦略本部
- 漁港漁場漁村総合研究所
- 気仙沼市役所　産業部水産課
- 国際農林水産業研究センター　水産領域
- 埼玉県庁　企業立地課
- 佐賀県有明水産振興センター
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構　イノベーション戦略センター
- 水産研究・教育機構　水産技術研究所養殖部門
- 水産庁　増殖推進部栽培養殖課
- 全国水産技術協会
- 千葉県漁業協同組合連合会
- 千葉市　総合政策局未来都市戦略部国家戦略特区推進課
- チリ大使館　商務部
- 東京都下水道局　中部下水道事務所芝浦水再生センター
- 東京都産業労働局　農林水産部水産課
- 豊頃町役場　水産係
- 内閣府　総合海洋政策事務局
- 農研機構　事業開発部
- 農林水産省　新事業・食品産業部
- ノルウェー大使館　通商技術部
- 函館国際水産・海洋都市推進機構　調査・研究部門
- 福岡県東京事務所　企業誘致第二課
- 北海道立総合研究機構稚内水産試験場　調査研究部
- マリノフォーラム21　開発部
- マリンオープンイノベーション機構　事業部
- 宮城県水産技術総合センター　第二養殖生産チーム
- 陸前高田市　脱炭素推進室

交通インフラ・建設・エネルギー

- IHIプラント　事業推進統括部営業部技術営業グループ
- アメフレック　エンジニアリング本部
- いすゞ自動車　開発技術企画部
- 出光興産　技術戦略部
- 岩谷産業　産業エネルギー部
- NTTデータ　ソリューション事業本部C&D事業部DC統括部
- ENEOSホールディングス　中央技術研究所技術戦略室事業開発推進グループ
- 江ノ島電鉄　経営管理部
- 荏原環境プラント　営業本部ソリューション開発部
- 奥村組　投資開発事業本部　新事業開発部　インフラ事業推進課
- 川崎重工業　プラントソリューション部
- 関西電力　イノベーション推進本部　事業創出第一グループ
- 近鉄グループホールディングス　総合政策本部　経営企画部
- 熊谷組　技術研究所
- 栗田工業　イノベーション本部新規事業開発部門循環資源創出プロジェクト
- 新菱冷熱工業　都市環境事業部
- 水king　基盤技術研究センター
- スタンレー電気　DGサテライト部
- ダイダン　イノベーション本部
- 大和ハウス工業　建築技術研究所　地球資源グループ
- 竹中工務店　環境共生・エネルギー本部
- 中部電力　再生可能エネルギーカンパニー
- 千代田化工建設　ライフサイエンスプロジェクト部
- 月島JFEアクアソリューション　戦略企画部
- 東急建設　価値創造推進室　イノベーション推進部
- 東芝　スマートマニュファクチャリング事業本部
- 東芝プラントシステム　産業プラント第二営業部
- 東邦ガス　技術研究所
- 東急建設　土木事業本部
- 戸田建設　GX統轄部　GX事業創造部
- 日揮ホールディングス　経営企画ユニット
- 日水コン　環境部
- 日鉄環境　水処理薬品事業部薬品営業部
- パナム　陸上養殖
- 日比谷総合設備　技術戦略本部
- 富士電機　社会ソリューション統括部
- 北陸電力　イノベーション推進本部　事業開発部　事業化プロジェクト推進室
- 北海道電力　事業共創推進室事業共創G
- 本田技術研究所　先進エネルギー研究開発室
- 前田建設工業　新事業企画室
- 三菱重工業　成長推進室
- 明電舎　プラント建設本部